



横浜市立谷本中学校 学校だより

や も と

「5月号」 令和元年5月27日発行

実りの時

校長 高部 振司

「麦秋至」(むぎのときいたる)

初夏の青空のもと、爽やかな風に揺れる黄金色の麦の海。麦の穂が実り、太陽の光を反射させるのは無数の芒(のぎ: イネ・ムギなどの実の外側の先についている、かたい毛のこと)です。

横浜の小麦の生産量は多くありませんが、主に青葉区や保土ヶ谷区、旭区、戸塚区などで現在も作られています。

またみなさんがお世話になった給食では、さまざまな種類のごはん(麦ごはん、胚芽ごはん、ターメリックライスなど)がありますが、そのなかでも麦ごはんに使われる大麦は、白米の17倍以上の食物繊維が含まれ、おなかの中をきれいにするはたらきがあります。

みなさんの身近にある麦。ぜひ関心を持ってみましょう。



5月28日～30日には、2年生が白樺湖を中心に自然教室。6月4日～6日には、3年生が広島・京都の修学旅行。1年生は、6月6日にこどもの国の遠足。

それぞれの学年が目的を持って校外行事を行います。その様子は後日お伝えするとして、事前に行われた説明会では、それぞれの担当生徒が同級生、保護者を前に立派な説明を行ってくれました。2年生は素晴らしいパフォーマンスの、3年生はしっかりと落ち着いた、それぞれに学年の良さが発揮されたものでした。2、3年生と共に過ごす3日間、私も今から楽しみにしています。ぜひ、行ってよかった、努力した甲斐があったと実感できる行事にしてください。

5月16日には、本校で第1回目の学校運営協議会が行われました。学校と地域、保護者の代表により構成されるこの会は、それぞれの立場、視点からよりよい教育活動が展開できるよう、さらに未来の「ふるさと谷本」を担う生徒のみなさんの健全育成を目的に活動しているものです。会の締めくくりには、校内見学をして頂きました。個別支援級、3年生が落ち着いた雰囲気の中、学習に取り組む様子を実際に見て頂きました。

今後は谷本中学校ブロックの小中5校が合同でそれぞれの代表者による学校運営協議会を2回開催し、大きな視点による小中一貫教育が実現できるよう力を合わせていきます。

家族、PTA、地域の方々等々、多くの人にみなさん一人ひとりが支えられていることを心に留め、一日一日を大切に。